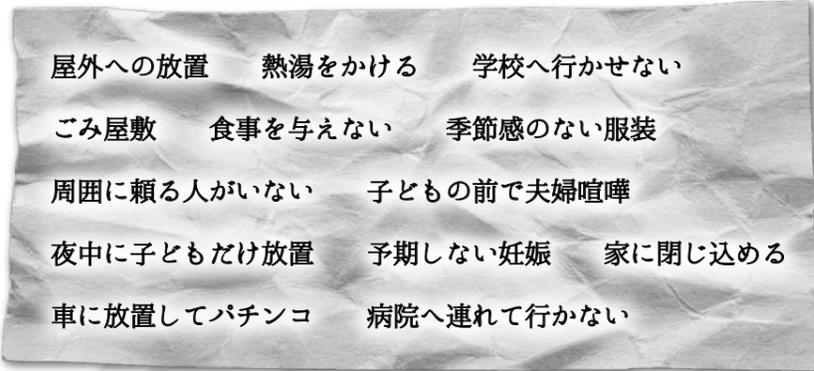


特集

暴力から「助けたい」



社会的な問題にもなっている児童虐待。全国で毎年幼い命が奪われてしまう痛ましい事件が発生しています。家庭内で何が起きているのか、尊い幼い命を守れるのは、あなたの勇気です。



※イメージです。

問い合わせ先 女性子ども課 (☎43-7255)

虐待への入口

「虐待をしてはいけない」誰でも分かっていることなのに、どうして虐待がなくなるのでしょか。虐待は、大人のさまざまなストレスが要因の根底にあります。自分の思い通りにならない、どうしていいかわからないなど、ストレスが蓄積し、溜まったストレスのはけ口として、家族で力の弱い子どもに不満をぶつけてしまいます。虐待が起る要因としては、妊娠・出産・育児などの環境の変化への悩み、保護者自身の性格、精神疾患などの不安定な状況、家族の経済的困窮と社会的な孤立なども上げられます。また、経済不況などの世相の影響、あるいは少子化・核家族化の影響からくる子育て知識や技術の不足、さらに、虐待を受けて育った子どもが親になったとき、同じように虐待してしまう世代間連鎖など、背景にあるものは多岐にわたります。

虐待を知ろう

虐待は次の4つに分類されますが、複数の重なって発生することもあります。虐待によって、子どもの発育や発達が遅れたり、心が傷つくことで、自己否定感を強く持つなど、その後の人生に大きな影響を与える可能性があります。

①身体的虐待
殴る、蹴る、投げ落とす、火傷を負わせる、溺れさせるなど

これって虐待？こんなとき、どうしたらいいの…

Case1 隣の家から怒鳴り声と子どもの泣き声が目まぐるしく、近所づきあひもあるし、通告したら今後居なくなろう。

アドバイス あなたが通告したことに対して、市や児童相談所は通告者を特定する情報を漏らしてはいけません。法律で定められています。たとえ間違っていたとしても通告者が責任を問われることはありません。

Case2 子どもが言うことを聞かないので、家の外に出したり、頭を叩くことがあります。我が家ではこれは躰であり虐待ではないと思います。

アドバイス 思いがけない妊娠により戸惑いを持たれていることでしょうか。娘さんの出産と産後を応援する大勢の人がいます。一人で悩まず、まずは相談してください。

Case3 娘が思いがけない妊娠をしてしまいました。本人は子どもを出産し、育児をしています。親として不安があります。

アドバイス 思いがけない妊娠により戸惑いを持たれていることでしょうか。娘さんの出産と産後を応援する大勢の人がいます。一人で悩まず、まずは相談してください。

アドバイス どんな理由があっても暴力は許される行為ではありません。あなたが躰として行う暴力により、子どもは一生消えない傷を負うことになってしまいます。ことを考えてください。

府中市では**児童相談員**を配置しています。虐待の通告から相談まで、いつでも話しに来てください。プライバシーは必ず守ります。さまざまな悩みを抱える子どもに寄り添い、地域、家族、学校などと連携してサポートします。

◎子どもや子育ての悩みや困りごと、いつでも相談してください

市役所女性子ども課 府中市要保護児童対策地域協議会 ☎0847-43-7255 相談日 月～金曜日 8時30分～17時15分 ※祝日、年末年始除く。	児童相談所 広島県東部子ども家庭センター ☎084-951-2340 相談日 月～金曜日 8時30分～17時15分 ※祝日、年末年始除く。	児童相談所全国共通ダイヤル ☎189 (いちほやく) 相談日 24時間対応 府中警察署 ☎0847-46-0110 相談日 24時間対応
---	--	---

- ② 性的虐待
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
 - ③ ネグレクト
子どもを家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、重い病気になっても病院に連れて行かないなど
 - ④ 心理的虐待
子どもへの言葉による脅し、無視、子どもの目の前で家族に暴力を振るうなど
- 1人で悩まずに、まず相談してみましょう

虐待の相談件数も、年々増加傾向にあります。相談に至る件数は、虐待を受けている子どもの数の氷山の一角に過ぎず、誰も発見できないところでもほとんど虐待が深刻化し、取り返しのつかない事態になる可能性があります。

「近所の子が虐待されているかもしれない」「パートナーが、子どもを虐待しているかもしれない」

府中市内と広島県全体の虐待相談件数

	府中市	広島県
平成26年	53件	3,015件
平成27年	52件	3,082件
平成28年	51件	3,480件
平成29年	56件	-

※広島県の平成29年度は、未確定です。